

地域で支えあうまちづくり懇談会

(H30.1.18 石部まちづくりセンター)

「石部南①～⑦グループ」

<引きこもりがちの人の対応>

- ・高齢者が増加しているが若い人は仕事があるので世話をするのも高齢者になる、しかしボランティア精神のある方が少ない
- ・カラオケとか参加しないで引きこもりの年寄りがいる
- ・老人会などに参加できなくなった後期高齢者の方が多くなるとそちらの方が問題（動ける高齢者はまだ良いが）

<生活困窮者>

- ・生活困窮者の方への援助の進め方

<移動手段>

- ・高齢者の体力弱った方の買い物、病院等の足
- ・高齢者の移動手段の不足
- ・巡回バス、病院や買い物（車に乗れなくなれば）
- ・交通利用について車を返納した時の買い物病院通いが不安
- ・駅に行く、病院に行く、買い物に行くなどの移動手段の選択が少ない
- ・高齢になってからのスーパー、病院、駅などに行く交通手段が少ない
- ・西庁舎ではすまない保健センターや東庁舎への行き来が難しい＝相談しにくい

- ・病院は市外、体が不自由を感じるようになると簡単に相談に受診できない

<認知症の理解と見守り>

障がいの理解に比べて認知症の理解はまだ

- ・認知症の方々の見守り
- ・認知症となった人が道路を歩いていて危険、どうするか？
- ・75歳以上になると5人に1人は認知症になるといわれている、近所にも傾向が見られる、家族以外にも手を差し伸べる人が必要
- ・認知症であることを隠す

<一人暮らしの見守り>

- ・高齢者のみ世帯、一人暮らし高齢者世帯への見守り対策
- ・一人暮らしで体力弱くなっている方の見守り
- ・一人暮らしになったとき近所の付き合い（気づき）
- ・となり近所と仲良くしていない人がいる
- ・家族が離れていてめんどろみてくれない人がいる
- ・一人暮らしの人のために何かを
- ・高齢者、一人住まいの人の食事、健康管理はどうすれば？
- ・独身高齢者は一人で住んでいるが病気の時の対応

<健康寿命を伸ばす活動>

- ・病気してからでなく元気なうちは地域での健康活動を推進
- ・健康寿命を伸ばす行事があまりない
- ・自分の健康が不安

<子供>

- ・不登校、引きこもり等の子供たちの見守り
- ・母、父子家庭の方々の見守り
- ・子供への虐待、どう見つけるか
- ・子供の貧困、ネグレクト例が多いと感じる

<若者の地域参加>

- ・石部高校生のまちづくりへの活用

<安心できる生活環境>

- ・市営住宅の建て替え
- ・豪雨等による土砂災害の備え
- ・国道 1 号線～宝来坂～栗東道路が危険（カーブ、スピード）

<福祉現場の人材不足>

- ・福祉従事者不足の改善（入所施設）
- ・知的障がい者、とりわけ重度の方が暮らすグループホームがない
- ・障がい者施設の職員不足、新人が来ない、給料の問題より休日とか夜勤の問題か、福祉精神の欠如の問題
- ・青年期からしっかりと福祉サービス（支援）を受けられることで社会生活を快適に暮らせるようになればと思います
- ・障がい者の方々のお世話、見守り
- ・高齢化社会や独居世帯で民生委員さんの仕事が大変そう、そうになるとやり手がいなくなる傾向。実際、人選に苦慮

されている

<支え合いの視点を考える>

- ・子供や障がいの人も支え手である
- ・かたちとして見えないが、あいさつ、声かけ、励まし（障がいや認知症の人や家族に対して）

「グループ 不明」

<地域全体>

- ・地域で犬のブリーダーをしておられ、朝5時ごろから犬の声かして問題に思っている
- ・引きこもりの人が増えている（学生～高齢者）
- ・高齢のみの世帯、一人暮らしの高齢者増加、空き家が増えてきて管理が出来ない
- ・健診、検診を受診しない若者層
- ・自治会の加入率が低い
- ・一人暮らしが多くなってきた

<高齢者（生活支援）>

- ・配食サービス事業所がなくなった
- ・一人住まいで買い物に行けない
- ・車が無いと買い物に困る
- ・独居の高齢者はゴミ出しに困る
- ・独居だが庭の手入れなど介護保険ではできない家事がある

<高齢者（交通手段）>

- ・お一人住まいの方が多（高齢の）
- ・駅にエレベーターが設置されていない
- ・坂が多く、移動手段がない
- ・高齢者の方が、免許を返上した時の移動手段
- ・石部駅の階段安全が出来ていないため不安

「高齢者（認知症）」

- ・ちほうが高齢になり進行、老老介護になり生活が大変

- ・独居の認知症高齢者の発見が遅れる地区がある
- ・認知症高齢者の増加（徘徊など）
- ・独居高齢者で認知症の症状、連絡事項も朝伝えても2～3時間後には忘れている、外出しても自分がどこにいるのかわからない、たばこを吸うので始末が怖い

<高齢者（介護）>

- ・老老介護、十分なサービスが受けられないと孤立、介護負担による虐待
- ・老老介護や介護のための離職
- ・介護疲れによる虐待
- ・高齢夫婦2人の生活

<障がい者（病院、施設）>

- ・診療所が少ない
- ・グループホームの設置（高齢者、障がい者）
- ・障がいを持った人たちの居場所作り
- ・高齢者の方が気軽に集えるサロン作り
- ・入院できるベットのある病院がない

<行政>

- ・地域生活支援センターが遠く気軽に相談が行けない

<子ども（居場所）>

- ・子ども達が遊び、他の世代の人と交流できる場所の整備

「石部小学校区グループ」

<防災>

- ・災害時における地域の方々との連携
- ・側溝に水捌け用の穴がなく水が溜まる
- ・災害時 冠水の対策

<認知症>

- ・認知症の人がふえてきた

<一人暮らし>

- ・相談する人、場所がない
- ・一人暮らしの人が多い
- ・一人暮らし多い、相手がいない（話す食事）
- ・特養施設（認定3以上）入居（ベット数）少なく、待機状態の解消
- ・一人暮らしの高齢者が多い

<移動>

- ・高齢者だけの世帯の交通
- ・石部駅のバリアフリー、バス便数が少ない
- ・石部中央の交差点の交通量が多い

<つながり>

- ・障がいがあって高齢の方の一人暮らし（孤立しやすい）
- ・新しいところ（アパート）ではママ同士のつながりが少ない

<空き家>

- ・空き家が目立つようになってきた
- ・空き家があり植木、草が伸びっぱなし

<モラル（環境）>

- ・道路にポイ捨てのごみが多い
- ・人の迷惑に思いを寄せる人が少なくなった→すべてに影響してくる

<行政>

- ・行政がかかえる大きな問題を地域に投げかけているようで本心が見えない

<区・自治会・担い手>

- ・「区」と「まち協」の連携がうまくできていない、役割分担が不明
- ・区・自治会への加入率が低い
- ・自治会等の（寺、神社）役職が重複しており、一部の者に集中している
- ・「地域で支えあう」という理念はそのとおりだが、誰がとなると、人材・能力・活力等が不足している
- ・自治会の役員の引き受けるひとがない
- ・役員という形から入るため、役を担うのを嫌がる人が多い
- ・70歳を超えても仕事をするという時代であるのに、地域の事を考えてくれとは言にくい
- ・地域の役員が当たると自動で他の役がついてくる
- ・区、自治会役員のなり手がいない
- ・ゴミステーションの条件制限による自治会の未加入
- ・～70歳まで就労するので担い手がいない

「グループ 不明」

<子育て支援>

- ・子供が少なくなっている
- ・子供が少ないので学校（小学校）からの帰りが一人になるので心配
- ・近くに肉親がいなくても安心して子育てができる
- ・児童虐待、ネグレクト、心理が多いですが、子育てに対する支援

<生活の利便性>

- ・戸によっては出かけるときに足（車）がない
- ・歩いて行ける店、病院が少ない
- ・車がないと不便（買い物、通院など）
- ・めぐるくん実用的じゃない（・少ない ・バス段差 ・停留所に屋根、椅子がない）
- ・JRの駅までが遠い
- ・バス 時間が少ない、車がなくなったときに買い物等。
- ・雪の時、道路までの雪かき
- ・買い物や病院へ行く交通手段を考えてほしい

<高齢者の生活支援>

- ・年齢が高くなると家に閉じこもりがちになるので気軽に集まる内容の行事がほしい
- ・井戸端会議（茶のみ場）が気軽に出かけて話せる場所
- ・高齢者が自宅で最期を迎える
- ・認知症に対しての見守りを地域でどうするか
- ・認知症予防に力を入れてほしい

- ・「健康長寿」の意識づくり

<障がい者理解>

- ・障がい者への差別や偏見をなくす
- ・障がい者とともに何かできる事

「石部学区 2 グループ」

<居場所づくり>

- ・高齢者の居場所
- ・保育園、学童の課題
- ・子育て支援センターの復帰
- ・小学校の学童保育の環境

<住まい>

- ・自治会の中でも班によって人数が少なく気の毒に思う、多い班（15～16件）、少ない班（4～5件）
- ・空き家が多い

<環境>

- ・バスの便が悪い
- ・めぐるくんのルートについて車がないと自由に買い物ができない
- ・石部駅のバリアフリー化
- ・高齢者の方の交通安全対策
- ・坂道段差が多い
- ・車がないと不便
- ・市役所が遠い
- ・昔の方が住みやすいように感じる
- ・環境が悪い、産廃業者が多い

<少子化・核家族化>

- ・若者が少ない
- ・子供が少ない
- ・ //
- ・ 2世代、3世代同居家族の減少
- ・ 独身の男女が目立つ
- ・ 子育てがしづらい（目かけてくれる人が少ない）

<思いやり>

- ・小さな子供が一人で歩き困っている
- ・認知症の方が道路を歩かれるのが危険
- ・認知症の方のケア（安全面）
- ・認知症の方を地域で見守っていただけたらと思います
- ・家族の介護で悩んでいる人が多い

<高齢化>

- ・高齢化が進んでいる
- ・高齢化が非常に進んでいること
- ・後期高齢者が多い
- ・高齢者のみの世帯が多い
- ・年寄りが多い 70 歳以上の人
- ・お年寄りが多い

<地域の絆>

- ・地域行事への参加
- ・自治会組織の取り組み（ひとり暮らし、家族の問題）
- ・地域の困りごとが知りたい
- ・地域の情報の入手が困難（プライベート事項）

「グループ 石部南 16～」

<高齢者の移動手段がない>

- ・ひとり暮らしの人のサポート
- ・高齢者が車の運転免許を返上してもあとが困る。困らないシステムを考える必要あり
- ・高齢者の交通手段が少ない。
- ・自宅→病院、自宅→スーパー等の移動手段
- ・坂が多く、買い物に行くところが遠く、歩けない。
- ・地域の移動手段、免許証を返した後
- ・ひとり暮らしで買い物や通院が出来ない。
- ・バスの交通手段が利用しにくい。

<子供への支援>

- ・子供の貧困が進んでいる
- ・インターネットでいじめがある
- ・貧困家庭の子に対する放課後の勉強会
- ・学童の会場の数が少ない。
- ・被虐待者が非常におおくてびっくりしている、なんとかサポートしてあげなくては

<居場所が少ない>

- ・介護について等の話し合いの場が少ない
- ・集まれる場所（送迎付き）
- ・各地区における高齢者の居場所づくりは今後どう有るべきか
- ・障がい者の方の 65 歳以上の居場所がない

<心のバリアフリー>

発達障がい児に対する市の取り組みは

<バリアフリーがない>

- ・石部駅のバリアフリー化はいつごろ完了？
- ・石部駅の階段がづらい、エレベーターの設置が出来ていない
- ・バリアフリーが出来ていない

<ひとり暮らしが多い>

- ・家族と一緒に住めていない
- ・独身高齢者を行政がどれだけ正確に把握しているか
- ・老老介護が心配である
- ・コミュニケーションが近所で取れていない
- ・介護者の入る施設が少ない
- ・引きこもりの成人、親が死亡すればどうなるか
- ・ひとり暮らしの高齢者の増加と空き家問題

<サポート支援が必要>

- ・買い物支援
- ・ゴミ出し支援
- ・介護の必要な人が増えている、施設は十分か？在宅支援にシフトしてきている、在宅できない人は支援者がいない。

<防災>

- ・避難行動要支援者の個別計画